

2023年度 日独青少年指導者セミナーB2
ユースホステル分野 派遣及び受入事業
事業報告書



一般財団法人 日本ユースホステル協会

様式第 12【無断複製等禁止の標記】

本報告書は、文部科学省の青少年国際交流推進事業として、一般財団法人日本ユースホステル協会が実施した 2023 年度「日独青少年指導者セミナー B 2（ユースホステル分野）派遣及び受入事業」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続が必要です。

【事業の概要】

今回のテーマは「ユースホステルと持続可能な発展」で、これに沿ってプログラムを展開するが、国際 YH 連盟では 10 のテーマに分けて SDGs として取り組む事業を明確化しており、併せて国際基準に合致する内容とした。

特に YH では人とのつながりを重要と考えており、お互いの運営方針を学ぶことにより、今後の SDGs の取組に生かすことができると思われる。

利用者の形態が多様化する昨今では若者だけではなく、家族での利用の方、年配の利用者の方に対し配慮した対応を求められるので、そこについても追及した。

また、元々 YH はインバウンドが近年のように増える以前から外国人の方の利用が多いが、コロナの収束に向け、さらに増えることが予想されるので、ドイツの方から意見を聞いて YH の運営に役立てる。

各行政関係にも協力をお願いしており、特に東京でのプログラムでは千代田区と東京都から環境問題に関する取り組みを紹介していただいた。

地方においては各 YH の環境に対する取り組みや YH での持続可能な対応などを紹介し、各訪問地においては青少年を通じた日本の文化の体験や各事業体の取り組みなどを紹介することによって事業の効果を高めることを目標とした。

【事業の目的】

この研修によって得られた情報、経験を自己の研鑽に役立てることをひとつの目標とし、継続的に活動できるように各自で目標を定め、かつ YH 運動の一助になるように努める。

さらにこの研修で得たこと、それを基礎としてこれから学ぶことを多くの方に周知し、直接、または SNS などを通じてより多くの方と情報を共有できるようにする。

【事業の成果】

日本ではコロナ禍のあと、いろいろな事案から青少年の海外志向の低下が懸念される現在、国際的な運動であり、今も全世界から多数の外国人が宿泊する YH は国際交流の経験を積む場としても有益であり、また日独とも YH で多数実施されている体験プログラムは青少年教育上の効果が高いことから、YH が文化教育の場として適切であることを再認識するという目標は概ね達成されたと考えている。

ドイツの先進的な環境への取り組みを学び、日々の YH の運営にフィードバックして、青少年の育成に役立てるという意識を参加者が共有できたことが、最大の成果である。

また、ドイツ団の受入においては、東京における自治体の環境への取組と、地方においては YH での環境への取組や文化体験、小学校での生徒との交流にも触れることができたことは、貴重な経験になったと考えたい。

【実施体制】

本協会事務局職員を中心に派遣・受入の準備実施体制を整えた。

また、受入グループの訪問、滞在先には東京セントラルYH、YGHアトマ、奈良YH、京都宇多野YH、国立磐梯青少年交流の家といった日本を代表する YH と青少年施設を選定し、現地のスタッフの協力も得ながら、受け入れ参加者がより深く日本と日本の YH の取り組みを学べるように配慮した。

特に福島のパログラムについては、平成 25 年度に受け入れを行った実績のある福島県 YH 協会にプログラムの作成と実施を依頼し、京都宇多野 YH では過去複数回の受入とともに、多くの派遣者を輩出しており、その経験を生かしていく。

【派遣先の主な協力組織】

バイエルン州ユースホステル協会

ザクセン州ユースホステル協会

ドイツユースホステル協会

【受入先の主な協力組織】

東京セントラルYH

東京上野YH

奈良YH

エスポール宮城YH

ユースゲストハウスアトマ

(一財)京都YH協会・宇多野YH

(公財)大阪YH協会・新大阪YH

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

東京都 都市整備局 都市づくり政策部

(公財)東京都ひとり親家庭福祉協議会

公益財団法人 ハーモニセンター

千代田区 環境まちづくり部

福島市立福島第三小学校

国立磐梯青少年交流の家

【事業内容】

本年度のテーマである「Sustainability ユースホステルと持続可能な発展」をメインに、青少年団体の指導者として、その後の活動に役立つ、国や YH で実施される事業を、相互に視察・研修した。

派遣:ドイツ(2023 年 9 月 21 日~10 月 5 日)

受入:日本(2023 年 11 月 20 日~12 月 2 日)

*内容の詳細は後述

【今後の課題】

参加者の報告書とアンケートから、今回の事業においては概ね目的を達成できたと考えられる。

ただ、現実問題として、特に日本の YH ではまだまだ環境問題への取組について、ドイツと比べると進んでいるとはいえず、今後はさらにこの問題への対応が必要と思われる。

また、いろいろな関係団体もあるので、YH 単独だけではなく、そういったところとも共同で対応していくこともひとつかもしれない。

2023 日独指導者セミナー 派遣 タイムスケジュール

| | 場所 | AM | PM | 宿泊 |
|------|------------------------------------|---|--|-----------------------------|
| 9/20 | 東京 | | 16:00 東京セントラル YH 集合 直前研修 | 東京セントラル YH |
| 9/21 | 東京 ↓ ガルミッシュ ＝パルテンキ ルヘン | 6:30 東京セントラル YH 出発 9:40 羽田空港発 (LH715) | 17:10 ミュンヘン空港着 20:00 マウンテンガルミッシュ YH 着 21:00 夕食 | DJH マウン 10 ガルミッシ ュ |
| 9/22 | ガルミッシュ ＝パルテンキ ルヘン | 11:00 バイエルン州協会に ついて | 12:30 昼食 (スナック) 13:00 バイエルン州協会 の取組と質疑応答 14:30 チーズ作り体験 17:00 館内ツアー 19:00 夕食 (レストラン) | 同上 |
| 9/23 | ガルミッシュ ＝パルテンキ ルヘン | 10:00 ミッテンワルド YH に向け出発 11:00 館内ツアーと説明 12:00 バターづくり | 12:30 昼食 13:30 ガルミッシュバー ゲイン YH に移動 14:10 館内ツアーとプロ グラムについて 16:30 リンダーホーフ城 見学 18:00 森林ツアー 19:30 夕食 (レストラン) 22:00 マウン 10YH 着 | 同上 |
| 9/24 | ポッセンハイ ム | 9:00 出発 10:00 オッバーマガウ YH にて館内ツアー 11:00 市内散策 | 12:00 ポッセンハイム YH に向け出発 13:30 到着後昼食 14:30 日独交流 50 周年記念イ ンタビュー 15:30 スタンバーガー湖 散策 18:00 ミュンヘンでの夕 食 | DJH ポッセ ンハイム |
| 9/25 | ミュンヘン・ | 9:00 バスにて出発 | 12:00 バイエルン州 YH | DJH |

| | | | | |
|------|---------------|-------------------------------------|--|--------------------------|
| | ニュルンベルク・バイロイト | 10:00 ドイツ青少年協会訪問 | 協会訪問（昼食） 13:30 バスにて出発 16:00 ニュルンベルク YH 見学 19:00 出発 20:30 バイロイト YH 到着 | バイロイト |
| 9/26 | バイロイト | 9:30 館内ツアー 10:30 インクルージョンへの取組 | 12:30 昼食 14:30 森林ステーションでの取組 16:00 旧市街へ移動 16:30 市内ツアー 18:30 夕食 20:30 バイロイト YH 到着 | 同上 |
| 9/27 | ヴンジーデル・タールリッツ | 10:00 バスにて出発 11:00 ヴンジーデル YH の取組 | 12:30 ルイゼンバークにてハイキング（昼食） 14:30 同出発 15:30 タールリッツ YH 到着 16:00 周辺散策・関係者との食事 | DJH タールリッツ |
| 9/28 | タールリッツ | 10:00 タールリッツ YH の取組 | 12:00 昼食（YH） 14:00 周辺の森でのプログラム | 同上 |
| 9/29 | ストレータ・ドレスデン | 9:00 バスにて出発 | 12:00 ストレータ YH 着（昼食） 13:00 ストレータ YH の取組 16:00 同出発 18:00 ドレスデン YH 着 | DJH ドレスデン |
| 9/30 | ドレスデン | 9:00 ザクセン州協会との意見交換 | 12:00 昼食（YH） 14:00 市内ツアー | 同上 |
| 10/1 | ベルリン | 9:00 出発（電車利用） 車内にて昼食 | 14:00 ベルリンインターナショナル YH 着 15:00 市内散策 | DJH ベルリン インターナショナル |

| | | | | |
|------|------|---|---|----------------------------|
| 10/2 | ベルリン | 8:30 出発（タクシー） 9:00 オストクロイツYH 着 10:00 自然の友青年団訪 問 | 13:00 昼食 14:00 ベルリンの壁ツア ー 17:00 国会議事堂ツアー | DJH ベルリンオ ストクロイ ツ |
| 10/3 | ベルリン | 9:00 ベルリンの壁ツア ー | 13:00 昼食 14:00 自由時間 17:00 プログラム振り返 り | 同上 |
| 10/4 | ベルリン | 8:00 オストクロイツYH 出発 11:15 ベルリン空港発 (OS226) | 13:30 ウィーン空港発 (OS51) | 機内泊 |
| 10/5 | 東京 | 8:50 成田空港着 10:00 解散 | | |

活動記録 派遣 2023 年 9 月 20 日～10 月 5 日

9 月 20 日

出発前研修のため東京セントラル YH に宿泊し、最終の確認等を行った。

9 月 21 日

6:30 東京セントラル YH を出発し羽田空港に公共交通機関で向かう。

飛行機の出発は定刻から 40 分ほど遅れたが、ミュンヘン空港への到着時刻は定刻通り。入国審査で各人が帰りの航空チケットを見せるよう言われたので、熊谷が急遽空港 WIFI になぎ入国審査官に見せ事なきを得た。

荷物受け取り後通訳のラウラさんと合流し、ワゴンでマウンテンガルミッシュ YH に向かう。

ワゴンが 9 名乗りだったので、荷物がすべてトランクに載らず座席の足元に置いた。

到着後ホステルマネージャーのケビン氏より簡単なチェックインの案内を受け、夕食後すぐに就寝。

9 月 22 日

朝食後 11 時に最初の講演バイエルン州協会について、バイエルン州協会会長クラウス氏より説明を受ける。

次にマーカスさんよりバイエルン州協会の持続可能性への取組についての説明。(途中昼休憩あり)

14 時 30 分よりガルミッシュ YH で外部講師の Lilly さんが実際に行っているプログラムのチーズ作り “Kaas’ n” を 2 時間ほど体験した。

17 時よりホステルマネージャーのケビン氏より部屋や設備関係、またガルミッシュ YH についての質疑応答を行う。

19 時より YH から 15 分ほど歩いた Gasthaus “Zur Schranne” にてウェルカムディナーに参加。(日本団 7 名、通訳 1 名、ホステルマネージャーケビン氏、クラウス氏ご夫妻の計 11 名参加)

21 時に夕食が終了し、徒歩で YH に帰り就寝となった。

9 月 23 日

10 時ミッテンワルト YH にバスにて移動。

到着後館内の簡単な説明をホステルマネージャーのリコ氏より受けたのち、“Alpiner Studienplatz” のプログラムについて Gerhard Weiser 紹介を受ける。

Alpiner Studienplatz はバイエルン州南部にある 4 つの YH で提供されている数十のプログラムで構成されている。そこに関わるスタッフは外部講師も含めると 50 人ほどいる。

説明の後、隣接する農場で野草ハーブを採取し、ハーブバターを生乳から作成した。

そのバターを使った昼食を食べ、ガルミッシュにある滞在しているのとは別の YH ガルミッシュバーゲイン YH に移動。こちらでもホステルマネージャーのペトラさんから館内ツアーと“Alpiner Studienplatz”について説明を受ける。

終了後バイエルン州の林野庁で勤務されているマイケルさんと合流しリンダーホーフ城に移動し見学。

夕食に向かう途中森の駅“Waldblickweg”に立ち寄り、マイケルさんより持続可能な森林での取り組みについて 1 時間ほど意見交換を行う。夕食を Klosterhotel Ettal にて食べた後、22 時ごろ YH の戻り就寝となった。

9 月 24 日

本日はマウンテン YH のチェックアウトとなる。

出発後まずはオッバーマガウ YH に向かう。1 時間ほどの館内説明や取り組みの後、市内散策を行った。

12 時にポッセンハイム YH に向けて出発(移動時間 1 時間 30 分)。

到着後昼食をとり、独日交流 50 周年事業の映画撮影のインタビューを受ける。インタビュー後は YH そばの湖を 1 時間ほど散策。

夕食をミュンヘン市内で食べるため電車で 40 分ほどかけて移動。

22 時過ぎに YH に戻り就寝となった。

9 月 25 日

9 時にミュンヘンにあるドイツ青少年交流協会に向けてチャーターバスにて出発(この日の移動はすべてバス)

10 時に到着し理事長のミリアムさんはじめ 3 名の方から、この協会の設立目的やバイエルン州 YH 協会とのパートナーシップについて説明を受ける。

12 時にミュンヘン市内にあるバイエルン州 YH 協会本部を訪問。理事長 2 名はじめ、これまで同行していただいている会長の方から、本部の様々な部署における役割などの説明を受ける。

昼食後、ニュルンベルク YH に移動。

同 YH にて文化教育・歴史教育の一環として行われているプログラムについて、動画を交えながら鑑賞する。

その後、ニュルンベルク旧市街の散策を 1 時間ほど行い、本日の目的地であるバイロイト YH に向かう。20 時 30 分ごろに到着し、軽めの夕食をとり就寝となった。

9 月 26 日

本日は遅めのプログラムの開始となる。

まずは 9 時 30 分からマネージャーの Nadine 氏よりホステルの概要また、インクルージ

ヨンに対する取り組みを伺う。

次にバイエルン協会の Markus 氏よりインクルージョンに対するバイエルン州協会としての取組やインクルージョンについての講義をしていただいた。

昼食をはさみ、徒歩で 30 分ほどのところにある森林ステーション(リンデンホフ)を訪ね、生物学者 Thomas 氏よりこの場所で行われている環境保護またサステナビリティな暮らしについてのフィールドワークを受ける。約 1 時間半の講義のあと旧市街に移動し、英語のガイドツアーを 2 時間ほど行い、レストランで夕食を食べ 21 時前頃に YH に帰着。

9 月 27 日

この日はバイエルン州からザクセン州への移動日となる。

出発前 Markus 氏とバイエルン州内のユースホステルの運営方針や問題点について意見交換を行う。

その後バスにてヴンジーデル YH に向かう。到着後マネージャーの Jorg 氏から食事についてのユースホステルでの取組について案内を受ける(主にオーガニック製品の使用や地産地消について)。時間が足りずフードロスに対する取り組みについては聞けず。

講義後ルイゼンバーグ山に行き、2 時間ほどのハイキングを行う。山頂にて昼食(ランチパック)。

その後にこの日の目的地であるタールリッツ YH にバスにて向かい 16 時ごろ到着。

ユースホステルの周辺散策後、ザクセン州協会の理事長(Uwe 氏)と副会長(Susan 氏)と国際関係(Ralf 氏)と当事業のザクセン州の担当者(Lisa 氏)と夕食をとりながら意見交換を行った。

9 月 28 日

遅めの朝食後 10 時よりこの日のプログラムは開始。

タールリッツ YH にて行われている学校向けのプログラムを体験する 1 日となった。

Claudia 氏よりイタドリを利用した飾りづくりについての体験プログラムを受ける。原則使用するものは森林にあるものや使わなくなった楽譜やタコ糸などを利用して作成した。

昼食をはさみ協力者である Su 氏より森林でのシェルターづくりの体験プログラムを受ける。

森林にあるもので一人用のシェルターを作成しながら、生物観察や自然界での植生や食べ物について話を受ける。

終了後この日は焚火を囲みながらの夕食(BBQ)をとり各自就寝となった。

9 月 29 日

本日はドレスデンへの移動日となる。

まず 9 時にバスにてストレータ YH に移動(3 時間)

到着後昼食をとり、パートナー団体と近隣の川に向かい水辺の生物について学校向けにどのようなプログラムを提供しているかを体験した。具体的には川に虫取り網を入れて生物をとり、図鑑と照らし合わせながら観察を行うプログラムである。

4 時間ほどの滞在後ドレスデン YH に向けて出発。18 時にドレスデン YH に到着した。ドレスデン YH に到着後夕食をとり、この日のプログラムは終了となった。

9 月 30 日

9 時よりザクセン州協会の理事会メンバーの方々と面会。主にザクセン州内での取組や課題、またユースホステルを運営するにあたっての州政府や国、EU とのかかわりについての話をいただいた。

その後 3 時間ほどの自由時間をはさみ 14 時よりドレスデン市内ツアーに参加(主にザクセン州内やドレスデンの歴史また現在の状況などについて)

市内観光終了後は休憩時間をはさみ、レストランにて Uwe 氏と Lisa 氏と本部協会 Miriam 氏(夕方から合流)と夕食をとり解散となった。

10 月 1 日

本日はベルリンへの移動日となる。

9 時にユースホステルを出発し、電車を利用しドレスデン中央駅を経由しベルリンまで向かう。道中にて昼食をとり、14 時頃に本日の宿泊先のベルリンインターナショナル YH に到着。

1 時間ほどの休憩をはさみ、15 時からブランデンブルグ門やベルリンの壁博物館などを見学し、レストランで夕食後ユースホステルに戻り解散となった。

10 月 2 日

8 時 30 分にベルリンのもう一つの YH であるオストクロイツ YH にタクシーにて移動。

到着後 30 分ほど館内ツアーをしていただき、YH 協会の協力団体である自然の友青年団の事務所を訪問した。

同協会の成り立ちやプロジェクトまた取組などについての講義を2時間ほど受けた後、昼食をはさみベルリンの壁のツアーに参加。(2 時間程度)その後場所を国会議事堂に移し、17 時より 1 時間ほどの見学ツアーに参加。終了後レストランにて夕食をとり、ユースホステルに帰りこの日は解散となった。

10 月 3 日

本日はドイツ統一の日であった。

10 時頃にユースホステルを出発し、ベルリンの壁の記念博物館に向かう。この日は統一の日とあり周辺には多くの見学者が記念館に来ているとのことだった。主にベルリンの壁の建設から崩壊までの歴史やその背景などについて、ミリアム氏より説明を受けながら徒歩にて散策

した。

昼食をはさみ、3 時間ほどの自由時間が与えられたため、各自で自由行動をした。

17 時より今回のプログラムについての全体の振り返りを日本団 7 名、通訳 1 名、ミリアム氏の計 9 名で 2 時間ほど行った。

その後同メンバーにて最後の夕食をとり、各々帰国に向けての準備を行うため解散となった。

10 月 4 日

8 時にユースホステルをチェックアウトし、空港へ電車にて向かう。

手続きを済ませ、定刻通りにウィーンへの出発。ウィーンで成田空港行きの飛行機に乗り換えて一路日本へ向かう。

10 月 5 日

9 時ごろに成田国際空港へ到着、手続きの後到着ゲート前にて日本団解散となり各自帰宅した。

活動記録 受入 2023 年 11 月 20 日～12 月 3 日

11 月 19 日(日) 1 日目

12:45 ミュンヘン ターミナル2発 LH714

11 月 20 日(月) 2 日目

9:05 東京国際(羽田)空港ターミナル 3 着 入国手続き

11:00 東京セントラルYHへ出発 大型バス

12:00 東京セントラルYH着

12:00-15:00 休憩 簡単な軽食を提供

15:00 オリエンテーション/事業目的、スケジュール、諸注意の説明と確認

16:15 現在の日本における YH 活動の現状(プレゼン)

日本の YH の現状について学び、以後のプログラムの基礎となる知識を養う

18:30-20:00 JYH 役職員、2023 参加者との歓迎夕食会

JYH 寺島理事長挨拶

【宿泊】東京セントラルYH

コーディネーター

菊地 健之(空港出迎え～東京セントラルYH) 大野 有理枝(東京セントラルYH)

11 月 21 日(火) 3 日目

7:00-8:30 朝食 東京セントラルYH

9:00 豊洲市場へ移動(電車)

堀場事業部長(2023年日本団)同行

飯田橋(Y 新木場)-豊洲(ゆりかもめ新橋)-市場前

10:00 豊洲市場見学

11:50 昼食 市場内のレストラン

13:00 豊洲市場出発 東京上野YHへ移動(電車)

市場前(ゆりかもめ豊洲)-豊洲(Y 川越)-有楽町(JR 山手)-御徒町

14:00 東京上野YH到着

施設見学、東京上野YHの取組 SDGs 17

16:00 秋葉原散策

17:00 上野駅出発 東京セントラルYHへ移動(電車) 上野-秋葉原-飯田橋

夕食はフリー

【宿泊】東京セントラルYH

コーディネーター 大野 有理枝

堀場 奈月(豊洲市場)東京都ユースホステル協会 事業部長

11 月 22 日(水) 4 日目

7:00-8:30 朝食 東京セントラルYH

| |
|---|
| <p>9:00 YH 出発 飯田橋-新宿-参宮橋(電車)</p> <p>10:00 独立行政法人国立青少年教育振興機構 センター棟502 機構が展開する青少年施設における事業について YH と共通する点など SDG4</p> <p>12:00 昼食 オリピックセンター カフェフレンズ(2 階)</p> <p>13:21 バスで移動</p> <p>14:00 都庁訪問 東京都の都市計画制度について ・都市づくりのグランドデザイン ・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 ・都庁展望台見学 SDG13</p> <p>新宿で解散 夕食 フリー 【宿泊】東京セントラルYH コーディネーター 菊地 健之</p> |
| <p>11月23日(木/祝) 5日目</p> <p>7:00-8:30 朝食 東京セントラルYH</p> <p>9:30-11:30 東京セントラルYH 東京セントラルYHの取り組み ひとり親家庭との事業など SDG1、16、17 東京セントラルYHの状況と東京セントラルYHで取り組んでいるひとり親家庭の取組について、関係者を交えて紹介。</p> <p>11:30 昼食 セントラルプラザ内(北海道)</p> <p>13:00 碑文谷へ移動(電車) 飯田橋-九段下-渋谷-学芸大学</p> <p>14:00-17:00 公益財団法人 ハーモニセンターの取組 碑文谷公園 こども動物広場 SDG4, 17 都内で運営している公益財団法人 ハーモニセンターの取組を紹介し、実際に馬と子どもたちとの交流を図る。</p> <p>17:00 東京セントラルYHへ移動 電車</p> <p>18:30 夕食 東京セントラルYH</p> <p>【宿泊】東京セントラルYH コーディネーター 大野 有理枝</p> |
| <p>11月24日(金) 6日目</p> <p>7:00-8:30 朝食 東京セントラルYH</p> <p>9:00 YH出発(電車) 飯田橋-九段下</p> <p>9:45 千代田区役所 区長表敬訪問</p> |

| |
|---|
| <p>水都東京の再生 SDG7、11、13</p> <p>千代田区とその周辺を中心に玉川上水からの内堀、外堀の浄化構想</p> <p>東京都構想の水都東京プログラムで千代田区が行っている外堀の浄化構想について、現場見学を含めながら紹介。</p> <p>12:30 九段会館 5 階 VMG カフェ</p> <p>13:30 浅草へ移動(電車) 九段下-日本橋-浅草</p> <p>14:15 ボランティアガイドによる浅草の案内(1 時間30分)</p> <p>～午後浅草の街 文化体験 フリー</p> <p>希望者は 16:00 頃スタッフとYHへ戻る</p> <p>夕食 フリー</p> <p>【宿泊】東京セントラルYH</p> <p>コーディネーター 菊地 健之</p> |
| <p>11月25日(土) 7日目</p> <p>7:00-7:45 朝食 東京セントラルYH</p> <p>8:45 東京セントラルYH出発 電車 飯田橋-御茶ノ水-東京</p> <p>9:36 東京駅(はやぶさ 13 号)</p> <p>11:06 仙台駅到着 仙台駅東口貸し切りバスプールへ移動</p> <p>11:30 仙台駅出発 マイクロバス 宮城県 YH 協会スタッフ5名合流</p> <p>12:30 松島海岸到着 昼食 お食事処松島浪漫亭</p> <p>13:30 松島湾貸し切り遊覧船 約1時間乗船</p> <p>14:30 松島海岸出発</p> <p>15:30 震災遺構仙台市立荒浜小学校到着</p> <p>16:00 震災遺構仙台市立荒浜小学校出発 マイクロバス</p> <p>17:00 エスポールみやぎYH到着</p> <p>17:30 宮城県 YH 協会関係者と夕食会 エスポールみやぎYH</p> <p>19:30 アトマへ出発 マイクロバス</p> <p>21:00 アトマ到着</p> <p>【宿泊】YGH アトマ(福島)</p> <p>コーディネーター 菊地 健之、熊谷 頼章(仙台～)</p> |
| <p>11月26日(日) 8日目</p> <p>8:30 朝食 YGH アトマ</p> <p>10:30 YHG アトマ出発 マイクロバスで移動 75km 60 分</p> <p>福島県協会から2名同行(小原理事長、豊田理事)</p> <p>11:30 昼食 猪苗代いわはし館五段そば</p> <p>13:30 会津若松城到着</p> <p>15:30 会津若松城出発</p> |

| |
|---|
| <p>17:00 YGH アトマ到着</p> <p>18:30 夕食 YGH アトマ</p> <p>20:00 YGH アトマの取組と YH で星見会(大型望遠鏡で天体の観測)</p> <p>YH で行っている取り組みを紹介</p> <p>【宿泊】YGH アトマ(福島)</p> <p>コーディネーター 熊谷 頼章</p> |
| <p>11月27日(月) 9日目</p> <p>7:30 朝食 YGH アトマ</p> <p>9:00 YGH 出発 マイクロバスで移動</p> <p>9:45 福島市立第三小学校訪問 SDG4</p> <p>校長先生からの学校説明</p> <p>授業参観 音楽演奏体験</p> <p>昼食 給食体験</p> <p>12:45 小学校出発 マイクロバス</p> <p>14:00 福島県川俣町で書道体験 川俣町公民館</p> <p>16:30 福島県川俣町出発</p> <p>17:00 YGH アトマ到着</p> <p>18:30 夕食 YGH アトマ 福島県 YH 協会との夕食会</p> <p>20:00 プログラムの振り返り</p> <p>【宿泊】YGH アトマ(福島)</p> <p>コーディネーター 熊谷 頼章、水野 宰</p> |
| <p>11月28日(火) 10日目</p> <p>7:30 朝食 YGH アトマ</p> <p>9:30 YGH アトマ出発 マイクロバスで移動</p> <p>11:00 国立磐梯青少年交流の家到着</p> <p>オリエンテーション、磐梯の活動内容などの説明</p> <p>12:00 昼食</p> <p>14:00 五色沼ハイキング</p> <p>18:00 夕食 国立磐梯青少年交流の家</p> <p>20:00 だるまの絵つけ</p> <p>【宿泊】国立磐梯青少年交流の家</p> <p>コーディネーター 熊谷 頼章、菊地 健之</p> |
| <p>11月29日(水) 11日目</p> <p>7:30 朝食 国立磐梯青少年交流の家</p> <p>8:00 国立磐梯青少年交流の家出発(マイクロバス)</p> |

| |
|---|
| <p>9:41 郡山駅(新幹線で移動) JR新幹線やまびこ 52 号で東京を經由し、奈良まで移動</p> <p>11:16 東京駅到着</p> <p>12:12 東京駅出発 JR新幹線のぞみ 31 号 昼食は新幹線内</p> <p>14:23 京都駅到着</p> <p>14:37 京都駅出発</p> <p>14:53 宇治駅到着</p> <p>15:30 平等院到着(徒歩) 見学</p> <p>16:30 平等院出発 マイクロバス</p> <p>17:00 奈良YH到着</p> <p>18:30 夕食 奈良 YH</p> <p>【宿泊】奈良 YH</p> <p>コーディネーター 熊谷 頼章(郡山駅まで)</p> <p>菊地 健之(国立磐梯青少年交流の家から東京駅まで)</p> <p>大野 有理枝(東京駅から奈良 YH)</p> <p>澤井 輔 近江希望が丘YH マネージャー</p> |
| <p>11月30日(木) 12日目</p> <p>7:30 朝食 奈良 YH</p> <p>8:00 奈良YH出発 マイクロバスで移動</p> <p>9:30 京都宇多野YH到着</p> <p>10:00 京都宇多野 YH 施設見学と宇多野 YH の環境への取組み</p> <p>担当:京都 YH 協会 事業部長 勢力 清美</p> <p>世界でもトップクラスの評価を得ている京都宇多野 YH の環境への取組について紹介する(過去 3 回、「快適性」の部門で世界 1 位を獲得)。SDG4、7、13、16、17</p> <p>昼食 茶房 ふる里 (宇多野 YH から徒歩 1 分)</p> <p>14:00 日本文化体験 京都市内</p> <p>妙心寺の退蔵院 拝観と抹茶体験</p> <p>その後、嵐山で夜までフリータイム</p> <p>夕食 フリー</p> <p>20:00 宇多野YH、または嵐山集合 奈良YHに向けて出発</p> <p>21:30 奈良YH到着</p> <p>【宿泊】奈良YH</p> <p>コーディネーター 大野 有理枝、澤井 輔</p> |
| <p>12月1日(金) 13日目</p> <p>8:00 朝食 奈良 YH</p> <p>9:30 奈良YHの取組と近江希望が丘YHの状況</p> <p>奈良YH見学</p> |

| |
|--|
| <p>全体の評価会 水野副会長</p> <p>12:00 昼食 ピアッツァホテル奈良 レストラン ラフェスタ</p> <p>13:30~16:30 奈良市内見学 日本語ガイドによる案内</p> <p>18:30 夕食 奈良 YH</p> <p>【宿泊】奈良 YH</p> <p>コーディネーター 水野 宰、大野 有理枝、澤井 輔</p> |
| <p>12月2日(土) 14日目</p> <p>8:00 朝食 奈良 YH</p> <p>10:00 奈良YH出発</p> <p>11:30 昼食 ブッフェレストラン パンパレット アリオ鳳</p> <p>13:00 大阪国際 YH 到着</p> <p>13:00 大阪国際YH 大阪における大型YHの役割と環境への取組</p> <p>15:00 夕食までフリー（荷造りなど）</p> <p>17:00 大阪国際 YH で夕食</p> <p>18:30 大阪国際 YH 出発</p> <p>19:00 関西国際空港到着</p> <p>22:50 関西国際空港 ターミナル1発 LH743</p> <p>コーディネーター 大野 有理枝、澤井 輔、久保 元嗣</p> |
| <p>12月3日 15日目(日)</p> <p>5:20 ミュンヘン ターミナル2到着 LH743</p> |

活動記録 受入 2023 年 11 月 20 日～12 月 3 日

11 月 19 日(日) 1 日目

12:45 ミュンヘン ターミナル2出発
(LH714)。



11 月 20 日(月) 2 日目

定刻通り 9:05 に東京国際(羽田)空港ターミナルに到着し、大型バスで東京セントラルYHへ到着。

バスの相見積もりを取ったところ、中型バスと料金が同一だったため大型にしたが、ドイツの方は乗車する人数に対し、バスの大きさに驚いていた(地方プログラムは自前のマイクロバスで移動)。

東京セントラルYHでの休憩の後、15 時からオリエンテーション、日本における YH 活動の現状(プレゼン)について説明を行う。

夕方から JYH 役職員、2023 参加者との歓迎夕食会を開催した。



初日のオリエンテーション



YH 協会の役職員、今回の受入関係者、今年の派遣団のメンバーなどが参加

11 月 21 日(火) 3 日目

午前中は、ドイツ団の希望であった豊洲市場を見学。メンバーは市場の仕組みなどを学んだ。

昼食はベジタリアンとビーガンがいたため2組に分かれて、1組は豊洲市場で摂り、もう1組は秋葉原で摂った。

本日は、本年度派遣団のリーダーとして訪独した東京都 YH 協会の堀場事業部長が同行してくれたので、昼食は食事制限がある方と分かれて摂ることができた。



午後は東京上野YHへ移動して、同YHの取組などについて、中村マネージャーから講義を行った。特に外国人を中心とした集客について、説明を行った。

夕方以降は夕食も含めフリーとしたため、秋葉原で解散した。



東京上野YHでの取組の講義



11月22日(水) 4日目

東京セントラルYHから国立オリンピック記念青少年総合センターへ移動し、独立行政法人国立青少年教育振興機構からの事業説明を行った。同機構が運営する全国の青少年施設は、ドイツのYHと運営方法が類似している点が多く、活発な意見交換が行われた。

なお、今回は機構側からだけの説明だけでなく、ドイツ側からもYHの実情についての報告を行った上での協議とした。

昼食はオリセンの中にある「カフェフレンズ」で摂ったが、ここはベジタリアンとビーガンにも対応していただけだったので大変助かった。

午後は初めて路線バスに乗車して都庁に向かった。

特に都内の移動についてはIcocaを購入して各自に渡していたので、スムーズだった。

※半導体不足によりSuicaの購入が東京できなかったため、奈良でIcocaを購入した。

都庁では、都市整備局 都市づくり政策部の方に「東京都の都市計画制度について」の講義をしていただき、江戸時代から将来的な東京都の都市計画について説明をいただいた。

その後、都庁の展望台を見学して、この日も夕食はフリーとしたが、ドイツの方は全員東京セントラルYHがある飯田橋まで一緒に帰ってきた。

青少年機構の講義





東京都 都市整備局 都市づくり政策部の講義

11月23日(木/祝) 5日目

午前中は、東京セントラルYH内で、同YHの取組と同じ建物内にある(公財)東京都ひとり親家庭福祉協議会と共催で行っている事業について、同財団からお越しいただき説明をしていただいた。

特に東京セントラルYHでは、年に数回、同財団に所属するひとり親家庭の子どもたちを無料で宿泊体験を行うプログラムを実施しており、それについても紹介した。

午後は、公益財団法人 ハーモニイセンターが行っている動物を通じた子どもたちとの交流について、現場である碑文谷公園 こども動物広場で説明を行った。

また、今回派遣で同法人から参加したメンバーも同行した。



東京セントラルYHの紹介と東京都ひとり親家庭福祉協議会との共催事業





ハーモニセンターが行っている動物を通じた子どもたちとの交流

11月24日(金) 6日目

午前中は千代田区を訪問し、区長を表敬訪問するとともに、「水都東京の再生」をテーマとして、千代田区環境まちづくり部から千代田区とその周辺を中心に玉川上水からの内堀、外堀の浄化構想についての話をいただいた。

ちょうど東京都の都市構想から話をつなげることができ、またドイツのメンバーの中にも建築の専門家がいたこともあり、様々な質問が出た。

昼食は千代田区庁の前にある九段会館の中にあるレストランで、特別にベジタリアンとビーガンのメニューを提供していただいた。今回は、他の場所も含めて食事場所の選択にはかなり苦労した。

午後は、浅草に移動し、ボランティアガイドによる浅草の案内の後、夕食も含めフリーとした。

なお、本年度、日本派遣団の通訳をドイツでしていただいたドイツ人の方が浅草で合流した。



千代田区長からのあいさつ



千代田区の講義





浅草の文化体験



11月25日(土) 7日目

本日から東北に移動して、宮城と福島のプログラムに入る。

9:36 に東京駅を出発して、11:06 に仙台駅に到着した。

本日の担当の宮城県 YH 協会のメンバー6 名に迎えられて、仙台駅で立科白樺高原YH所属(長野県)のマイクロバスで松島まで移動する。

松島の昼食場所のレストランではベジタリアンに対応していただけしたが、ビーガン対応はできないということで、メープル仙台 YH の方が手作りで弁当を持参してくれた。

昼食後、貸切の観光船で松島湾を見学する。

その後、マイクロバスで移動し、15:30 に震災遺構である仙台市立荒浜小学校到着。

ボランティアガイドの方から説明をしていただき、津波の大きさを体感する。

17:00 にエスポールみやぎYHに到着し、宮城県 YH 協会関係者と夕食を摂りながら、同協会の状況を説明していただいた。

その後、福島県の YGH アトマへ移動し、21 時ごろ到着した。

松島湾見学



震災遺構の荒浜小学校見学





福島県 YH 協会との情報交換と夕食



11月26日(日) 8日目

昨日はかなりハードなスケジュールだったので、今朝は少しゆっくりとしたプログラムにした。

午前中にマネージャーから YGH アトマの経営についての説明をしていただいた。

その後、YGH アトマを 10:30 に出発し、山岳道路を通りながら移動し、猪苗代で名物のそばを堪能する。

なお、この日から福島県 YH 協会のスタッフが同行し、11/26 と 11/27 の 2 日間を担当していただき、本日は 2 名の方に参加していただいた。

午後からは会津若松城を見学。今回のプログラムでは、唯一の日本の城を見る機会となった。

その後、YH に戻り、夕方からはドイツ側の希望より、夕食前に近くの温泉を体験する。公式プログラムでは温泉体験は予定していないが、本日から 3 日間続けて、福島で温泉を経験することとなった。

夕食後は同 YH で行っている YH 所有の大型望遠鏡による天体の観測天体観測を行った。



文化体験 会津若松城



YGH アトマで行っている星見会



11月27日(月) 9日目

午前中は、福島市立第三小学校訪問する。

本日は福島県 YH 協会から 5 名の方と、本協会からも副会長が参加し、大勢の方が同行することとなった。

まず校長先生からの学校説明を行い、それぞれで意見交換を行った。

その後、当初生徒からは”わらじ音頭”の披露のみを予定していたが、生徒自身が考えて、クイズ形式の授業参観となった。

今回の訪問で、校長先生からはドイツ語に興味を持つ機会になったとの言葉をいただく。

その後、生徒が給食の準備をする様子を実際に見たあと、学校給食を体験した。

午後は川俣町に移動し、福島県 YH 協会の理事であり、書道の師範の資格を持つ方から指導をいただき、書道体験をした。



教職員の方との情報交換



生徒との交流会



書道体験



11月28日(火) 10日目

本日から場所を国立磐梯青少年交流の家へ移動した。当初国立那須甲子青少年自然の家を利用する予定だったが、落雷のため長期休館となってしまったため、こちらに変更した。同じ福島県内で変更できたことは幸いであった。

午前中に到着し、オリエンテーション、昼食を挟んで午後から五色沼の散策を行うが、あいにくの天候で、雨と寒さの中での散策となった。

なお、この日から今回訪独した国立那須甲子青少年自然の家のスタッフの方が1泊2日、同行していただいた。

夕食後は、施設内で「だるまの絵付け」を行った。こちらは国立那須甲子青少年自然の家のプログラムであったが、担当の方が材料を全て磐梯まで持って来ていただき実施した。



国立磐梯青少年交流の家
でのだるまの絵付け



11月29日(水) 11日目

昨夜から降り始めた雪が10cmほど積もっており、朝から大雪の中出発することとなった。

そのため出発を少し早めに変更し、国立磐梯青少年交流の家を出発。

9:41 に郡山駅で、福島県 YH 協会の方の見送りを受け出発し、東京駅で1時間ほどの乗り換え時間を過ごし、12:12 に東京駅を出発した。



大雪の国立磐梯青少年交流の家

京都駅を経由し、14:53 に宇治駅に到着し、ボランティアガイドによる案内で平等院を見学する。各地にこのようなボランティアガイドによる案内があるので、今回有効に活用した。料金も基本的には無料で、交通費のみかかる場合があるが、それもあり低額である。

その後、近江希望が丘YH(滋賀県)から同YHのマネージャーが運転するマイクロバスで奈良YHへ移動した。

11月30日(木) 12日目

朝、奈良YHを出発し、10:30 ごろ京都宇多野YHに到着した。

同YHは環境への取組について、YHとしては先端の事業を行っており、担当から京都宇多野YHの環境への取組について説明をいただく。

なお、同YHは過去3回、「快適性」の部門で、YH連盟の評価で世界1位を獲得している。

昼食の後、妙心寺の退蔵院で拝観と抹茶体験を行い、その後は嵐山で夜までフリータイムとした。

夕食後、奈良YHへ 21:30 ごろ戻った。

宇多野 YH の講義と施設見学





宇多野 YH



妙心寺退蔵院

12月1日(金) 13日目

午前中は奈良YHの取組と近江希望が丘YHの状況について説明を行い、その後全体の評価会を実施した。評価会では、特に京都宇多野 YH と YGH アトマでの評価が高かった。

なお、評価会には本協会の副会長も出席した。

その後、奈良市内での昼食の後、ボランティアガイドにより、東大寺と大仏殿を見学した。



奈良YHの取組と全体の評価会



東大寺と大仏殿見学



12月2日(土) 14日目

少し遅めに奈良YHを出発し、途中で昼食を摂ってから大阪国際YHへ午後到着した。

13時から大阪における大型YHの役割と環境への取組について説明をいただく。このYHIは日本でも一番宿泊定員が大きい点でドイツと類似しており、いろいろ参考になったと思われる。

夕食は大阪 YH協会の関係者と今年度の参加者を含めたビュッフェ方式の送迎会を実施した。

なお、公式プログラムでは本日の夜、関西国際空港から帰国する予定であったが、ミュンヘン空港が降雪による空港閉鎖のため、同YHIに1泊してから、12月3日に日本を後にした。

その後も空港は回復せず、上海で数日間を過ごすことになった。



大阪国際 YH の取組とフェアウェルパーティー



12月3日 15日目(日)

5:20 ミュンヘン ターミナル2到着 LH743

※実際は数日遅れて、ミュンヘン、または他の空港へ到着した。

最終的には12月8日に全員到着したとの報告があった。

日独交流2023全体評価会報告

日時 2023 年12月1日
場所 奈良 YH 大ホール
出席者 ドイツ団 7 名
JYH 水野副会長、長友マネージャー、澤井マネージャー、大野 有理枝

■評価会 ドイツ団メンバーの感想

・ハンスさん(ザクセン州・理事)

期待通りだった。テーマに関してプログラムがバランスよくできていた。特に印象的だったのは東京都の都市計画の話。千代田区の水質の話。10年後くらいに再来日したら、その計画の進み具合を見たい。自由時間があり、日本のことを知る機会としては大変よかった。交流が14日間は短かった。

・リサさん(ザクセン州・マーケティング担当)

プログラムがとてもよかった。日本という国や文化を学ぶ機会として最適だった。ビーガンの食事に関しても良い対応で、味がおいしかった。自由時間が十分にあって、特にコーディネーターなしで散策することで見えてくることもあった。プログラムの時間がつまっていて、食事時間を削られた点は残念だった。テーマについて SDGsというテーマが広すぎて、もっと絞った内容にするとインプットできるものも深くできる。今回学んだことはザクセンのザイダで実践したい。

・クリスティアンさん(バイエルン州・YH マネージャー)

期待は満たされたが、リサと同じでテーマについては少し物足りなかった。様々なYHを訪問したが、テーマを言及するパートが少なく感じた。宇多野は今回のテーマにヒットしている。期待の半分は宇多野で満たされた。自由時間などは各地で様々な特色があった。食事についても各地のスタッフが24時間体制で対応してくださったと思う。

・エルケさん(バエイエレン州・マーケティング、プログラム開発担当)

プログラムは素晴らしかった。各YHでの見学や自由時間、JYHのコーディネーターが常にアテンドしたこともありがたかった。残念だった点は、磐梯も奈良も貸し切りであったので他の宿泊客と交流がなかったのと、貸し切りでの施設の暖房やそのための人材など。清掃スタッフなどとも交流したかった。日本には学ぶことも多い。

・クラウスさん(バイエルン州・会長)

今回の交流に参加できて光栄です。

プログラムの中で、ドイツと日本の相互で情報交換できたことが貴重だった。特に四点として、YHの多様性を体験でき(都市型、地方YHなど)、YHと青年の家の異なる2タイプを知り、日本の教育の多様性を知ることができた。

JYHが社会貢献に対する取り組みをたくさんしていること、日本におけるボランティアの意義を通して伝統を守ることと状況に合わせることの大切さを感じた。

今回テーマのサステナビリティですがドイツ国内でも差があるが日本も同じだと学びました。

・ミリアムさん(DJH 本部・国際担当)

日独交流の長く続くことをありがたく思っている。ベルリン50周年記念にはJYHからビデオを送ってもらえてよかった。三度目の来日ですが、毎回異なったYHを訪問できて、直接会えたので職員との交流もでき相互理解が深まった。

ドイツ団内でも各地の情報を交換したのも有用だった。JYHのアテンド三名、各YHマネージャーの歓待によりホームシックどころか故郷のようだった。リクエストに対しての誠実な対応、特に食事についてのビーガン対応など感謝している。

特に温泉、アトマの滞在、五色沼の散策が印象的だった。今後の課題についてはメールで大野さんとやりとりするが、とても良い滞在であったのは間違いない。今後も交流を続けていければと思う。

・カールさん(団長・DJH 副会長、2 回目の参加)

誠にありがとうございました。とても良い日々でした。歓待を肌で感じ、言葉にする前にリクエストに対応してくださったことに感謝しています。各地での滞在で日本の多様性を感じた。経験が濃かったのでまだ租借しきれていない。今回のドイツ団の構成は、多様な背景を持つ方が参加しているため、同じプログラムを体験する中で多角的に見ることができた。日本の良さ、新幹線が時刻通りに運行されていることなど。プログラムの中で、京都や会津若松などを訪れで各地の特色を感じた。各YHマネージャーの対応に感謝する。

小学校訪問での子供たちとの交流が楽しかった。校長先生とのやり取りで YH の利用があるかの問いにないと言われたのは残念だった。今後の発展をお祈りいたします。

・水野副会長

様々な意見をありがとうございました。今回だけで終わりではなく、今後も交流を続けていけたらと思います。

①2009からドイツ側のリクエストで青年の家をプログラムに組み込んでいる。今後もこの内容は継続でいいか。

カールさんより:YH と青年の家はそれぞれにフィットした客層を紹介しあえる。

②ドイツ側からの希望としてシングルルームの対応を希望されたが、物理的に対応できない場合もあり、ご了承いただけない場合はホテルでの滞在も考えないといけない。

ミリアムさんより:アトマ YGH ではツイン使用があったが問題なかった、前回の滞在でもそうであったので、ドイツ団の了解が得られれば問題ない。YH のスタッフとしては YH に泊まりたいと考えている。